



# 鷹番小学校

## ○特色ある教育課程

本校は「40分授業午前5時間制」を実施することで、時間を効果的に活用し、よりよい教師の働き方を構築しながら児童の学びと生活の質の向上を図り、自主的・実践的な態度の育成を図る特色ある教育課程を開発し、実施している。  
1週間の学校の時間を組み立てる上で、児童の時間の面からの具体的な取組①と教師の時間の面からの具体的な取組②の工夫を行っている。

### 具体的な取組①

#### たかばんタイム

##### めあてと振り返りの時間

○目的：自分のめあての立案とその振り返りを通して自己の学習や生活への見直しをもつ力の育成を図る。

##### 自己選択学習の時間

○目的：学習のめあてや計画的な学習計画、生活のめあてなどの立案や再確認、それを意識して生活できたかを振り返る。

#### ぼかぼかタイム

##### 異学年交流の時間

○目的：自主性と実践的な態度をはぐくむ。  
○内容：第6学年が中心となって計画し、たてわり班遊びや各回の振り返り、年に1度の全校遠足のめあてづくりやお互いのよさを見付けるなどの振り返りを行う。



【ぼかぼかタイム】

#### チャレンジタイム

##### 自己選択学習の時間

○目的：自己調整の力をはぐくむ。  
○内容：学習したことをもとに、さらに自分が興味や関心をもった中で、さらにやりたいことを挑戦する時間。

##### ○方法：

時間 低：一単位時間40分×20回程度  
高：一単位時間60分×20回程度

※学年の状況に応じて、自分の課題への挑戦のサイクルをおおよそ設定する。

場所 原則 教室  
高学年 自分の課題に適した場所  
例 図書室 理科室  
音楽室 図工室 等

#### パワーアップタイム

##### 体力向上の時間（自己選択学習含む）

○目的：児童の体力向上を図る。

○対象：全学年

○時間：火曜日の20分間（昼の時間）

○内容：運動

（例 体力テストにつながる動き）



【パワーアップタイム】

### 日々の学習における鷹番スタンダード

#### <単元デザインのポイント>

- ・学習過程の工夫
- ・主体的、対話的で深い学びの視点

#### <授業デザインのポイント>

- ・ねらいと評価の明確化
- ・めあて、まとめの板書の工夫
- ・見直し、伝え合い、学習用情報端末の活用の視点からの工夫

### 【鷹番の1週間】

時間	月	火	水	木	金
8:10-8:20			登校		
朝			朝の会		
1校時			ぼかぼかタイム※月1		
2校時					
3校時					
中休み	10:40-11:00	休み時間（※1～3年生は2時間目と3時間目の間）			
4校時	11:00-11:40				
5校時	11:45-12:25				
給食	12:25-13:10	給食の時間			
昼休み	13:10-13:30	休み時間・掃除	休み時間	休み・掃除	休み時間
掃除	13:30-13:50	たかばんタイム	パワーアップタイム・読書	6校時（60分）13:20-14:20	全校集会月1回 集会・音楽会
集会	13:50-14:10	掃除 休み時間	掃除 休み時間	掃除 休み時間	チャレンジタイム 低：40分 高：60分 ※月1回 クラブ活動
裁量	14:05-14:45				
6校時	14:05-14:45				
放課後	15:00-15:40	コンテンツタイム	アセスメントタイム	会議等	生活指導夕会 スキルアップタイム フレキシブルタイム
	15:40-16:25	教員の休憩時間			
	16:25-16:40	夕会	フレキシブルタイム	フレキシブルタイム	フレキシブルタイム

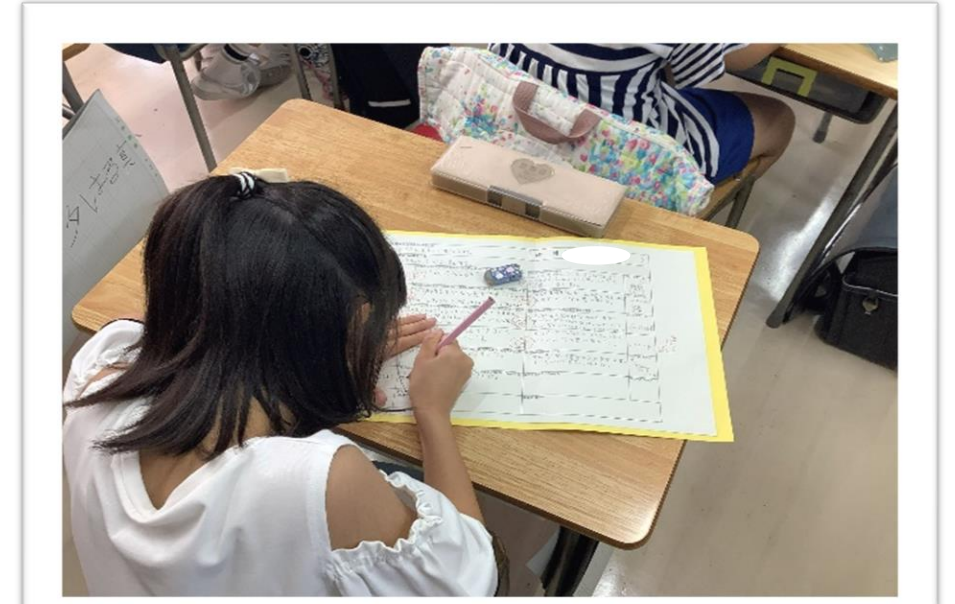
### 具体的な取組②

#### コンテンツタイム

##### 教材研究の時間

児童下校後、毎週月曜日、教材研究を中心に行う時間として、40分間設定している。

方法は、学年ごとに学年主任が中心となって単元計画や授業デザイン、効果的な発問等について教材研究を行う。各教科等の単元のねらいや進め方、学習内容の精選や重点化について共有し、単元や授業デザインを構築する。



【コンテンツタイム】

#### アセスメントタイム

##### 児童理解の時間

児童下校後、毎週火曜日、児童理解を中心に行う時間として、40分間設定している。

方法は、計画的に対象の学年を決め、個々の児童の学びや生活の視点から、実態把握や支援方法を共有する。

メンバーは、特別支援教育コーディネーターをはじめ、管理職、生活指導主任、養護教諭、SC、特別支援教室専門員などである。



【アセスメントタイム】

#### スキルアップタイム

##### 指導力向上の時間

児童下校後、毎週木や金曜日に組織的に行う研修の時間として、40分間設定している。教員の専門性を生かした学び合いの機会を意図的に設定し、指導力向上を目指す。

- ・校務分掌上の仕事をしながらする校務分掌OJT例  
運営委員会 常置委員会 各種行事委員会 など
- ・学年や学年分科会などを中心にした学年OJT例  
学年会 学年分科会 自己研修
- ・研修する対象者や内容を決めて行う課題OJT例  
若手研修会 課題研修会



【スキルアップタイム】

#### マイタイム

##### 基礎・基本の定着に向けた自主学習の時間

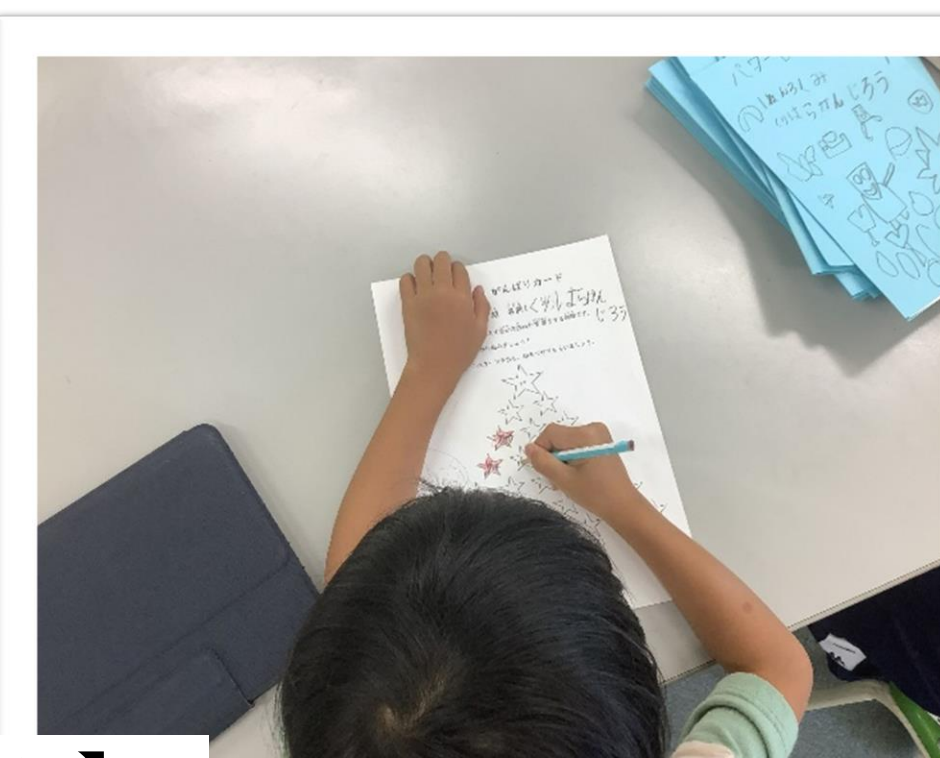
○目的：児童自ら学びたい学習（個別最適な学び）を選択し、基礎・基本の定着に向けた学習に取り組む。

○対象：1～3学年（希望する児童）

○時間：毎週、月曜日・火曜日の放課後20分間（上学年の6校時前半に位置付ける）

○内容：漢字や計算、読書など

自分にあった方法で、児童が学びたい基礎・基本的な内容を選択し、学習を進める。



【マイタイム】